

狭山市サッカー協会少年部 市内大会開催に向けたガイドライン 第 3 版

作成：2022 年 10 月 8 日

狭山市サッカー協会少年部

目次

はじめに	3
1.大会開催に関する基本的方針	3
2.大会運営に関する基本的方針	3
3.大会開催に関わる人々に関する基本事項	4
4.会場本部に関する基本的事項	6
5.その他	6

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の予防措置として、本少年部が作成し 2022 年 6 月に発行した「狭山市サッカー協会少年部 市内大会開催に向けたガイドライン第 2 版」の中から直近の状況に合わせて内容を見直しました。

大会の運営にあたり次の事項を励行して新型コロナウイルス（COVID-19）の感染症拡大予防に努めてください。

1. 大会開催に関する基本的方針

少年部事務局もしくは大会に参加する少年部役員を狭山市サッカー協会少年部主催大会の感染対策責任者とし、大会内での感染対策の徹底及び関連情報の収集、展開を行う。

各チームの理事はチーム内での感染状況を把握し、大会を経由して他チームの選手・役員・保護者に感染した危険性がある場合は速やかに理事連絡網で情報を展開すること。

2. 大会運営に関する基本的方針

（1）慣行の見直し・新しい工夫

①開会式と閉会式は実施しない

②表彰式を実施する

- 該当チームごとに分散して行う
- 最小人員が間隔をあけて横一列に整列する
- 順位発表や挨拶は省略する
- 本部による賞状の書き込みは実施しない

③来場および退場時の本部挨拶は行わないことを徹底する

④一日に消化する試合数が少なくなる工夫と、できる限り食事を伴わないように努める 但し、一日当たりの試合数等と日程を検討した結果、食事を伴う一日開催を採用できる

⑤グラウンド準備で備品を扱う場合は、作業開始前及び作業終了後に手指の消毒または手洗いを行う

⑥試合球は少年部が用意する

⑦選手と指導者は、ベンチ入り前に手洗いまたは手指の消毒を実施する

⑧試合開始前の用具チェックは、当該チームで実施する

⑨試合前の挨拶はセレモニー方式（タッチラインに平行）で無声で行う（握手はしない）

⑩審判が試合開始前に行うコイントスには、両チームのキャプテンのみが立ち会い、握手は行わない

⑪試合終了後は審判とキャプテンで結果を確認したのちセレモニー方式（タッチラインに平行）で無声で挨拶する（握手はしない）

⑫試合後の相手ベンチに対する挨拶は行わない

⑬各チームの帯同責任者は大会参加者の名簿を作成し、大会終了後 1 週間保管する

後日提出の依頼があった場合は、速やかに提出すること

(2) 審判団

- ① 審判の打合せにおいては密集、密接の回避を心掛ける
- ② 審判は、審判打合せや試合開始前に手洗い、または手指の消毒または手洗いを行う

(3) 試合中

- ① 試合前や試合中に、円陣や大声でお互いや自分を鼓舞する行為はしてはならない
- ② 試合中に選手や審判は、大声や近距離での会話を行わない
- ③ 得点した時の握手、ハイタッチや抱擁などの接触は慎む
- ④ 試合中に倒れた選手に手を貸さない
- ⑤ 負傷者への接触は、状況を見極めて最小限に止める
- ⑥ フィールド内でも咳エチケット守り、唾や痰を吐かない

(4) ベンチ

- ① ベンチ内の控選手は、マスクを着用して所定の距離を保ち、横一列で着席することを基本とするが、ハーフタイムや選手交代などの活動後すぐの期間は指導者が状況を見てマスク着用の可否を指示する。
- ② ベンチ内の控選手は、大声を出したりせず、且つ、会話は控える
- ③ ベンチ内の指導者はマスクを着用するが、フィールドに向かって指示を行う場合のみマスクを外すことができる
- ④ ビブスの貸し借りはしないこと
同一ベンチ内で複数の色やデザインが混在することを認める
- ⑤ タオルの貸し借りはしないこと
- ⑥ 飲料の共有は厳禁
- ⑦ 口に含んだ飲料は吐き出さない

(5) 応援

- ① 応援者はマスクを着用する
- ② 応援者は応援する時はベンチの真後ろを避ける
- ③ 応援者は可能な限りフィールドから 5m 以上離れて横並びになり、適切な間隔を空ける
- ④ 応援者は大きな声での発声と近距離での会話は慎む

3. 大会開催に関わる人々に関する基本的事項

- ① 人との距離はできるだけ 2m (最低 1m) を空ける
- ② 来場する人はマスクを着用し、マスクを外しての会話は行わない

- ③こまめな手洗い、または、手指の消毒を徹底する
- ④大きな声での発声を慎む
- ⑤身体的な接触を伴う挨拶は行わない（握手、ハイタッチ、抱擁等）
- ⑥当日大会に関わる全ての人は以下の事項に注意して一つでも該当する場合は参加しない
 - 平熱を超えた発熱がある
 - 咳、のどの痛み、鼻水などの風症状がある
 - だるさや息苦しさを感ずる
 - 嗅覚や味覚に異常を覚える
 - 参加中に体調不良を感じた場合は、速やかに医療機関を受診する
受診の結果は、チーム責任者に報告する
- ⑦選手、指導者、審判員、役員等は当日必ず検温のうえ参加する

また感染者、濃厚接触者になった場合もしくはなるかもしれない場合の大会への参加の可否については以下の通りとする

① 感染者となった場合

感染者は発症から7日以上経過し、症状が回復してから2日経過するまで参加を禁止する。

（症状が回復するとは、解熱剤を服用することなく平熱を保ち、呼吸器の症状が改善している状態）無症状の感染者の場合は陽性判定を受けた日の翌日から7日間経過するまで参加を禁止する。

② 濃厚接触者となった場合

保健所から感染者の濃厚接触者と認定された場合は保健所の指示に従うこと。保健所の指示で行動制限を受ける場合はその間の参加を禁止する。

③ 同居する家族が感染者となったが保健所の判断で濃厚接触者とならなかった場合

感染者の療養期間終了もしくは感染者との接触が断たれた日の翌日から3日後のどちらか早い日まで参加を禁止する。

④ 同居する家族が濃厚接触者となった場合

濃厚接触者との接触があった場合、接触が断たれた日の翌日から3日後まで参加を禁止する。接触がなかった場合は制限しない。

⑤ 同居する家族以外の感染者との接触があった場合

感染者が発症する2日前（例：火曜日に発症したのであれば日曜日）もしくは無症状の感染者が陽性判定を受けた日の2日前以降に接触があった場合は、最後に接触した日の翌日から7日間参加を禁止する。ただし最後に接触した日の翌日から3日を経過した後に陰性が確認された場合は陰性が確認された日から参加できる。

団の活動の中で接触の可能性があった場合は、制限の対象者とするかどうかを団の責任者が決定すること。

⑥ 感染者もしくは同居する濃厚接触者との接触があると特定された人以外については制限しない。

⑦ 接触の定義

ここでいう接触とは、厚生労働省の濃厚接触者の定義よりも厳しい条件とし、マスクをしない状態で1m以内に接近していた時間が15分以上ある場合、マスクをした状態で1m以内に接近していた時間が60分以上ある場合とする。

⑧ 学校で学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖の対象となった場合は、感染の有無、濃厚接触の有無に関わらず学校の指示に従い、学校から外出を禁止されている期間は参加しないこと。

⑨ コロナ感染によりエントリーメンバーに不足が出た場合は、当日にエントリー表を再提出することでメンバーを追加できる。

4. 会場本部に関する基本的事項

- ① 本ガイドラインの周知に努める 時々会場内を巡回して注意事項の励行状態を確認し、必要に応じて注意喚起を行う
- ② グランド準備や片付けを開始する際の点呼及び打ち合わせでは、人と人との距離を1m～2m 空ける また、大きな声での発声は避ける
- ③ できる限り少人数のスタッフで運営する
- ④ 石鹼（ポンプ式）やアルコール等の消毒液を備える
- ⑤ 会場本部が三つの密になる状態を回避するように努める
- ⑥ 全てにおいて、飲料は提供しない（審判員、グラウンド準備要員、役員、スタッフ等）
- ⑦ テーブル、椅子、テントの支柱等は使用後に消毒する
- ⑧ トイレのドア取っ手や水洗用のレバーを約 1 時間毎に消毒する
- ⑨ 賞状やカップ、トロフィー、盾に触る機会を最小限に止める
- ⑩ 賞状の書き込みは、会場本部は行わずに、当該チームが持ち帰った後に書き込む

5. その他

- ① 日常的に健康チェックを行う（チェックリスト用いて検温等を記録する）
- ② 会場への車での送迎は、できる限り家族単位で行う 複数家族が一緒に車で移動する場合は、車内の換気に努め、できる限り会話を慎む
- ③ ゴミの廃棄に関して、以下のことに配慮願います
 - 鼻水、唾液が付いたごみは、ビニール袋に入れて密封して縛る
 - ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用して作業してください
 - 作業が終了したら、必ず石鹼と流水で手洗いを行い、手指の消毒を行ってください
 - 飲料は、飲み掛けの物は持ち帰る
- ④ 飲料の空き缶や空になったボトル類は各自で持ち帰り処分する

⑤食事する場合は以下の点に留意する

- 食事の前に手洗いまたは手指の消毒を行う
- 準備する人はマスクを着用する
- 対面を避けて、横並びで距離を確保すること
- 食事中の会話は控える
- 一つの容器から各自の箸等でとるのは避ける（漬物、デザート等）

⑥たばこの喫煙は許可しますが、以下の事項を守ってください

- 喫煙は指定場所で行う
- 灰皿は設置しないので、各自で用意し共有を慎む
- 喫煙中の会話は、最小限にする
- 人と人の適切な距離を保つ

以上